



1ヶ月の貸出冊数が1万冊を超えました

今年の7月の館外貸出冊数が1万冊になりました。月間貸出数が1万冊を超えるのは、本学図書館がコンピュータで統計を取り始めて以来、初めてのことです。毎年7月の館外貸出数は、夏期休暇を間近に控えていることから1年間で最も多く、昨年度も増加傾向の中で9,557冊を記録していましたが、今年度はこの数値をさらに1,347冊上回りました。この要因については、授業で先生方から利用のお勧めをいただいているBooks for Extensive Reading（多読用図書）の学生利用が著しく高まっていることがあげられます。

図書館では4月からの貸出が毎月、昨年度の数値を上回っていることもあって、年度貸出の記録を更新できる可能性が高いと考えています。ちなみに、昨年度の学生1人あたりの貸出冊数は11.58冊でした。

	4月	5月	6月	7月	合計
2012年	5,041	6,343	6,831	9,557	27,772
2013年	8,096	8,901	8,874	10,904	36,775
増加分	3,055	2,558	2,043	1,347	9,003

(単位：冊)

自動貸出機を導入しました

本学図書館はこのほど本館のサーキュレーション・エリアに自動貸出機を設置しました。この自動貸出機は電波式のブック・ディテクション・システムを備えた図書館では初めて可動するもので、当面は第1閲覧室と第2閲覧室の開架式図書の貸出を対象にしています。画面に示された貸出手順に従って操作していただくと、最後に返却日が打ち込まれたリライト式のカードが貸出機から出て来ますので、これを借り出す本の末尾に貼られた従来のブック・ポケット

トに入れていただければ、手続きが完了します。

なお、自動貸出機で借り出された本の返却については、返却日を記入したリライト式カードを入れたまま、自動貸出機横に設置されたブック・リターンポストに戻して下さい。



私立大学図書館協会賞を受賞しました

8月29日（木）に愛知県の中京大学で行われた私立大学図書館協会の第74回総会において、本学図書館が編纂、刊行して同協会賞の受賞が決定していた図録形式の展示目録『知られざる世界への挑戦 - 航海、探検、漂流を記した書物百選』への表彰式が行われました。

この表彰式では、協会理事校（会長校）である立命館大学図書館長の平野仁彦氏から表彰状と副賞が本学図書館の赤野一郎館長に手渡されました。その後、同図書館長らは別の作品で協会賞を同時受賞した慶應義塾大学三田メディアセンターの関係者と共に、会場の数百名の総会参加者に対して受賞の挨拶と受賞対象の内容説明を行い、盛大にお祝いの拍手を受けていました。